

平成20年度 新聞記事等一覧 (12月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	12月1日	日刊工業新聞	29面 未来思考 経営戦略31 モノづくりに「さえずり」効果	東京農工大学林教授が、駅構内に流れる視覚障害の方の移動支援「鳥のさえずり」を例に挙げ、見失いがちな「ゆとり」や「あそび(自由度)」といった心遣いを企業経営(モノづくりやCSR活動)に取り入れるべきであると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
2	12月1日	南日本新聞	9面 大久保利通と近代日本 没後130年 明治を拓く 一番外編③- 駒場農学校 賞典禄寄付、発展の礎に	東京農工大学の前身である駒場農学校創設時に賞典禄(報償)を寄付した大久保利通公および「賞典禄」の名がついた東京農工大学のブランド焼酎の紹介。更に、東京農工大学竹内教授の解説を掲載。	共生科学技術研究院 竹内 道雄 教授
3	12月2日	日本経済新聞 (東京・首都圏経済版)	35面 東京農工大発VBIに融資 日本政策金融公庫	東京農工大学産官学連携・知的財産センターと日本政策金融公庫が締結した、産学連携協力の賞書に基づく初の融資として、東京農工大学発のベンチャー企業(株)アルキヤットが、日本政策金融公庫から1000万円の融資を受けることの紹介。	産官学連携・知的財産センター
4	12月2日	日刊工業新聞	8面 画像がなめらかに変化 大日印 3次元印刷技術を開発	東京農工大学高木准教授と大日本印刷(株)が共同で、奥行き感と画像のなめらかな変化を実現する3次元印刷技術「ダイナキューブ3D」を開発したと掲載。	共生科学技術研究院 高木 康博 准教授
5	12月2日	日刊工業新聞	23面 20日にフォーラム 甲南大学先端生命科学研究所	「FIBER Forum2008」において、東京農工大学新垣助教が微生物に関して講演すると紹介。	共生科学技術研究院 新垣 篤史 助教
6	12月3日	産経新聞	16面 STOP! メタボリックシンドローム 検証 睡眠時無呼吸症候群ネットワーク がシンポジウム 最大の要因肥満 突然死通常の2倍	東京農工大学小野副学長が、自らの患者経験を例に挙げ、睡眠時無呼吸症候群(SAS)について解説。	小野 隆彦 副学長
7	12月3日	日刊工業新聞	32面 低濃度バイオエタノール利用 水素 高効率で発生 東京農工大 家庭用燃料電池向け	東京農工大学亀山教授らが、低濃度のバイオエタノールから家庭用燃料電池用の水素を高効率で発生させる反応器を開発したと掲載。	共生科学技術研究院 亀山 秀雄 教授
8	12月4日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	11面 磁性細菌で有害物質回収 東京農工大が浄化手法 細胞膜を加工	東京農工大学松永教授らが、磁性細菌で特定の物質を効率よく回収する手法を開発したと紹介。	松永 是 副学長
9	12月5日	読売新聞 (地域・多摩版)	32面 農業の日伯交流 農工大でシンポ	東京農工大学で開催されるシンポジウム「日伯大学・研究機関交流シンポジウム～農業分野における日伯国際交流-移住百年の成果と将来展望～」の案内。	共生科学技術研究院 笹尾 彰 副学長 服部 順昭 教授
10	12月5日	科学新聞	2面 血糖値センサーでガン診断 新開発 DNAアダプターで可能に 150円で検診 東京農工大が実用化めざす	東京農工大学池袋准教授が、血糖値センサーをガン診断用センサーに変える新規DNAアダプター(AES)の開発に成功したことおよび、東京農工大学池袋准教授のコメントが紹介。	共生科学技術研究院 池袋 一典 准教授
11	12月5日	科学新聞	2面 大学の技術 企業化へ ベンチャー活用、新課題3件 JSTが決定	科学技術振興機構が決定した、独自のシーズ展開事業・革新的ベンチャー活用開発「一般プログラム」の今年度採択課題3件の内の一つとして、東京農工大学黒川教授の研究を基にした『光と無線を融合した光給電型センサネットワークシステム』が紹介。	共生科学技術研究院 黒川 隆志 教授
12	12月8日	朝日新聞 (多摩版)	29面 普後一教授のキャンパスブログ ベランダ野菜 「いのち」の成長学べる	東京農工大学普後教授が、ベランダで「野菜の栽培」をすることが、子供に「いのち」とは何であるのかを教える機会になると解説。および、東京農工大学農学府三好氏のイラストが掲載。	共生科学技術研究院 農学府 普後 一 教授 三好 勲治 氏
13	12月8日	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略32 今こそ体質改善のチャンス	東京農工大学林教授が、企業の体質改善にとって、何が指標となるか、どの程度の努力が必要かを考え、実際のダイエットと同様に、根気良く改善していくことが重要であると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
14	12月9日	日刊工業新聞	6面 天田金属加工機械技術振興財団 今年度前期 63件を助成	東京農工大学笹原准教授が、(財)天田金属加工機械技術振興財団から「一般研究開発助成(塑性加工)」部門で助成を受けることが紹介。	共生科学技術研究院 笹原 弘之 准教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
15	12月10日	東京新聞 (地域の情報・多摩版)	22面 日伯の農業交流考える 農工大であすからシンポ	東京農工大学で開催されるシンポジウム「日伯大学・研究機関交流シンポジウム」の案内。	共生科学技術研究院 笹尾 彰 副学長 服部 順昭 教授
16	12月10日	朝日新聞(夕刊)	4面 環境エコロジー フィールド・ノート ペレット・ウオッチ 手軽に海の健康診断	東京農工大学高田教授が、直径3ミリ前後でプラスチック製品の原料であるレジンペレットを浜辺で集め、海の汚染状況を探る「ペレット・ウオッチ」を提唱していること、および、東京農工大学高田教授のコメントが紹介。	共生科学技術研究院 高田 秀重 教授
17	12月11日	広報ふちゅう	5面 ひろば 東京農工大学吹奏楽団定期演奏会	東京農工大学吹奏楽団、定期演奏会の案内。	
18	12月12日	科学新聞	2面 いつもより運転急ぐと警告 農工大、教習に活用 ドライブレコーダー試作	東京農工大学永井教授らの研究グループが、個別適合型の急ぎ運転警報付きドライブレコーダーの試作機を矢崎計器㈱と共同で開発したと発表。	共生科学技術研究院 永井 正夫 教授
19	12月12日	科学新聞	7面 平成20年度 科学研究費補助金 新学術領域研究課題一覧(機関順)	東京農工大学島山教授、神谷教授、船田教授、伊豆田教授、原教授の研究が、平成20年度科学研究費補助金新学術領域研究に採択されたと紹介。	共生科学技術研究院 共生科学技術研究院 共生科学技術研究院 共生科学技術研究院 共生科学技術研究院
20	12月16日	日刊工業新聞	29面 08年の総点検と09年の展望④ 企業・個人に多大な影響 「経営」、秋以降 異なる展開	東京農工大学林教授が、2008年のリスクマネジメントに関する出来事について解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
21	12月17日	日本経済新聞 (東京・首都圏経済版)	39面 西武信金・農工大 中小支援で連携	東京農工大学と西武信用金庫が、中小、ベンチャー企業支援で包括的連携・協力協定を結んだと紹介。	産官学連携・知的財産 センター 小畑 秀文 学長
22	12月17日	東京新聞 (地域の情報・多摩版)	24面 中小・ベンチャー支援へ 農工大・西武信金が連携	東京農工大学と西武信用金庫が、中小・ベンチャー企業支援を目的とした連携協定を締結したことおよび、東京農工大学小畑学長のコメントが紹介。	産官学連携・知的財産 センター 小畑 秀文 学長
23	12月17日	日刊工業新聞	26面 西武信金 東京農工大と連携協定 環境分野などで中小支援	東京農工大学と西武信用金庫が、中小・ベンチャー企業支援を目的とした連携協力協定を締結したことおよび、東京農工大学小畑学長のコメントが紹介。	産官学連携・知的財産 センター 小畑 秀文 学長
24	12月19日	読売新聞 (地域・多摩版)	32面 農工大と西武信金 産学連携支援協定	東京農工大学と西武信用金庫が、中小企業やベンチャー企業への支援体制構築のための「包括的連携・協力に関する協定」を締結したと紹介。	産官学連携・知的財産 センター 小畑 秀文 学長
25	12月19日	科学新聞	8面 「明日見ゆ」ASMeWの挑戦 これまでの軌跡と今後の展望 世界トップ目指す覚悟	早稲田大学が医理工連携を標榜した連携・共同大学院創設構想の一つに、東京農工大学が紹介。	
26	12月22日	朝日新聞 (多摩版)	25面 普後一教授のキャンパスブログ 虫食い 服の穴から見えるもの	東京農工大学普後教授が、衣服の虫食いを防ぐために安易に防虫剤を使用することを例に挙げ、人間にとって都合の悪いものを、すぐに抹殺することが美徳であるような風潮は危険であると解説および、東京農工大学農学府三好氏のイラストが掲載。	共生科学技術研究院 農学府 普後 一 教授 三好 勲治 氏
27	12月22日	日本経済新聞	20面 理工教育支援プロジェクト テクノリネサンスジャパン 理工系学生のあなたへ。 「企業に研究開発してほしい未来の夢」 コンテスト 結果発表	東京農工大学工学府榎島氏・岡田氏が、「企業に研究開発してほしい未来の夢」コンテストのナビタイムジャパン賞最優秀賞を受賞したと発表。	工学府 工学府 榎島 量 氏 岡田 聡 氏
28	12月22日	日刊工業新聞	19面 未来思考 経営戦略33 つばめグリル、ぶれない経営	東京農工大学林教授が、いくつかの飲食店を例に挙げ、未曾有の暴風が吹き荒れる今だからこそ、従業員がよく気づき、無駄なく動く高いサービスを提供することが、経営者のセンスであり資質であると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
29	12月29日	朝日新聞 (多摩版)	21面 普後一教授のキャンパスブログ 二十四節気 学び彩る「虫の移ろい」	東京農工大学普後教授が、1年の季節を細かく分けた「二十四節気」を表す昆虫の変化をいくつか例に挙げ、日本の四季を彩る「虫の移ろい」と東京農工大学農学部における「虫の移ろい」を紹介、および、東京農工大学農学府三好氏のイラストが掲載。	共生科学技術研究院 農学府 普後 一 教授 三好 勲治 氏
30	12月29日	日刊工業新聞	17面 未来思考 経営戦略34 日本の強み「善意のアノマリー」	東京農工大学林教授が、経営戦略や事業戦略のさまざまな場面で起こるアノマリー(変則性)をいくつか例に挙げ、緊急時には、損得勘定を抜きにし、理詰めではなく行動する「善意のアノマリー」が日本の強みであると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授

追加記事等

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	11月21日	コンセプション新聞 (チリ共和国)	1・14面 日本人が環境汚染物質のモニタリングを指導	東京農工大学高田教授が、海岸漂着プラスチック小粒を使った海洋汚染の世界的なモニタリング実施のため、チリのNGOへ参加を呼びかけるためにコンセプションを訪問したことを紹介。	共生科学技術研究院 高田 秀重 教授
2	11月24日	十勝毎日新聞	1面 わが村は美しく ドイツ村づくり成功例視察記 ① 地域の宝を探せ 自助努力 生活の質押し上げ 景観改善、ボランティアで	東京農工大学千賀教授らの先導で、「ドイツの村づくりの成功事例」といわれる、「わが村は美しく-わが村には未来がある」運動の現場を視察したコラム。	共生科学技術研究院 千賀 裕太郎 教授
3	11月26日	日刊自動車新聞	3面 東京農工大と矢崎計器 ドラレコ2種共同開発 自動車教習用と個別適合型 1年後に実用化目指す	東京農工大学永井教授の研究グループと矢崎計器株式が、自動車教習所向けと営業車向けに、2種類のドライブレコーダー(ドラレコ)を共同開発したと発表。	共生科学技術研究院 小畑 秀文 学長 永井 正夫 教授
4	11月27日	日刊工業新聞	36面 東京農工大発VBIに1000万円 政策公庫	東京農工大学産官学連携・知的財産センターと日本政策金融公庫東京中央支店および三鷹支店との間で締結した「産学連携・協力推進に関する覚書」による初めての融資として、東京農工大学発のベンチャー企業(株)アルキヤットが日本政策金融公庫から1000万円の融資を受けることの紹介。	産官学連携・知的財産 センター
5	11月28日	日刊工業新聞	16面 底力を発揮ー東京・多摩地域 モノづくり企業が集積 さらなる技術の高度化に挑戦	多摩地域が企業にとって産学連携を組みやすい理由の一つとして、理工系大学の立地が挙げられ、東京農工大学がその一つとして紹介。	